

ア ク セ ス み な み

MINAMI-LOUNGE : <http://tabunka.minamilounge.com/>

みなみラウンジでは 外国人のための「生活ガイダンス」を行っています



ごみの分け方について、みなさん、熱心に聞いていました。「今日から間違えずに出せます」とニコリ



南区、特に中区との区境になる地域では、外国人が年々、増加しています。地域では「外国人に日本の生活習慣や南区のまちの良さを知ってほしい」という声が、外国人からも「日本での暮らし方を知りたい」という声があがり、みなみラウンジでは、外国人の皆さんに母語でこうしたことを伝える「生活ガイダンス」を去年の10月から始めています。

これまでに中国語8回、英語3回ほかタガログ語・韓国語も含め計17回のガイダンスを行ってきました。参加した外国人の方々からは「ごみの分け方がわかった」「町内会のことに興味をもった」などの感想をいただいています。これからも随時、生活ガイダンスを行っていきますので、日本の暮らしにまだなじんでいない外国人の方を見かけたら、ぜひ、ラウンジをご案内ください。

ラウンジ言語スタッフのほか
語学ボランティアも講師を



ロメロさん(右上)も講師の一人。フィリピンから来日してまだ数日という受講者の皆さんは「母語なのでわかりやすかった」と話してくれました。

区内でも外国人が最も多い寿東部地区・木村
連合町内会長にお聞きしました

生活ガイダンスで、外国人の方々に、日本の生活習慣についての理解を深めていただくことは、とても良いことだと思います。これからも、ラウンジに、地域の日本人と外国人の橋渡し役となっていきたいですね。



南区外国人数推移



南区 桜まつり

ステージイベント、模擬店、バザー、被災地物産展などなど楽しい催しがいっぱい!

★大岡川プロムナード
桜のライトアップ&ぼんぼり点灯
3/23(土)~4/10(水) 18時~22時
※月~木曜は21時まで

3/31(日) 10時~15時/蒔田公園

<南区役所地域振興課Tel045-341-1238>

みなみラウンジも「世界の文化体験」ブースを出店します。遊びに来てね!!

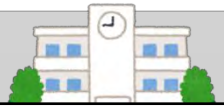


インドネシアのオレンジtea、中国の椰子飴、モンゴル語体験、韓国の折り紙... お楽しみに!



特集:南区で活躍する外国人(1)

南区は、横浜市内でも外国人が多く住んでいるエリアです。日本の社会で、日本語を学び、日本人と交流している外国人もいます。南区で活躍している外国人にスポットライトを当ててご紹介します。



日本語と母語の両方ができる方は、学校で通訳として活躍されています。中国から来た張彩英さんと、タイから来た由本クワンチャノックさんにインタビューしました。

～ボランティアで新しい目標も見つけました～

★来日して19年目、日本語は就職に有利になるからと勧められて中国で学びました。日本に来た時、言葉の不安はあまり感じませんでした。

★学校でのボランティアは、日本語と中国語の両方話せることを生かしたいと思っていたところ、先輩の中国人ママから進められて始めました。自分の子どもが幼稚園と小学校に通っていたこともあり、子育てとも両立できそうと思って始めて6年目。今は3校の学校に母語を使って行う支援※1で通いながら、専門通訳※2や小中(学校)等の市民通訳※3をやっています。ボランティア活動を通して日本の学校のことが分かり、自分の子育てに生かすことができ、日本と中国双方の学習用語も学べ、自分の日本語の勉強にもなっています。

★印象に残っているできごと：親子間の通訳をしたことです。保護者は昼間一生懸命働いていて、日本語の学習までは手が回らず、話せる言葉は中国語だけ。子供は毎日保育園に通う中でどんどん日本語を覚え中国語を忘れてしまっているため、親子の間でも通訳が必要でした。とてもびっくりしたことを覚えてます。

★中国の子どもたちや保護者をサポートしていく中で、新しい目標が持てました。「日本語を教える先生になりたい」と思うようになり、日本語教師に必要な420時間の講習も受けました。現在、その目標に向かって頑張っています。



ちょうさいえい 張 彩英さん

～言葉で、困っている人の役にたちたいです～

★タイの大学で日本語を学び、日系企業で日本語を使って、通訳等の仕事をして働いていました。来日して1年半、現在はみなみラウンジでタイ語スタッフとして働く傍ら、学校などでタイから来た子どもや保護者への通訳をしています。

★通訳することで、その人の伝えたいことややりたいことが伝わってホッとさせていただくと、こちらも幸せになります。小学校で、日本語の漢字やひらがなの覚え方を教えてあげて、できるようになった時は、自分のことのように嬉しかったです。



由本クワンチャノックさん

注：

※1.母語を使って行う支援

来日間もない外国籍・外国につながる児童生徒へ母語のわかるボランティアを派遣し、子どもの様子によって、学校生活全般に慣れるための「初期適応支援」をしたり、学習をサポートする「学習支援」をしっています。

※2.専門通訳

みなみラウンジ等で行う外国人相談(法律・行政・教育)の通訳

※3.面談などの場面で、言葉に不安を感じる保護者への支援で、母語のわかる通訳を派遣します。

ラウンジのフェスタや地域のお祭りにも多くの外国人が参加しています。



興味があったら、ぜひ、その国のことについて聞いてみてください。参加者の外国人の皆さんは、日本人とのふれあいを心待ちにしています。

桜まつりの書道体験で、初めて筆を握る日本の子が頑張って書く姿に感動しました。この活動で、日中の文化交流が深まったと感じました。中国出身：常 娥(じょう が)さん



フェスタなどでインドネシア料理を出すことを通して、インドネシアがどんな国か、知ってほしいです。インドネシア出身：中崎サンニさん



地域施設で韓国料理の講座もしています。みなさんが韓国について、興味を持ってくれたらうれしいです。韓国出身：金正順(キム・ジョンソン)さん

～日本語はまだ勉強中だけど、英語を生かして、交流活動をしています～

フィリピン出身：ロメロ・テレシタさん



来日して3年、日本語は難しいですが、勉強するのは楽しいです。

小学校の特設英語クラブの講師は、最初恥ずかしい気持ちもありましたが、だんだん慣れてきました。英語が初めての子が多かったので、アルファベットや発音の練習をゲームのようにしたところとても盛り上がりました。フィリピンの文化紹介は、色々な学校でやらせてもらいました。フィリピンのことを知らない子どもたちがその国のことを知ろうとする姿をみると、とてもやりがいを感じます。生活ガイダンスの講師として、日本のごみのルール等をタガログ語でフィリピンの方に伝える経験は、自分のためにもなりました。日本のごみのルールはとてもよくできていて、自分の国にも伝えたいと思いました。

今、日本で勉強しているフィリピンにつながる子どもたちには、せっかく日本で教育を受けられる機会に恵まれたのだから、大変なことだとは思いますが、日本語と日本の文化をしっかりと勉強してほしいです。英語ができると世界とつながることができるので、その楽しさ・素晴らしさを伝えていきたいです。

シリーズ タウンニュースの記者が“見た・聞いた・感じた”



「子どもの居場所」地図に施設設関係者ら作成

南区内に「子ども食堂」がこの数年で増える中、食堂や学習支援拠点などの情報がまとめられた「南区子どもの居場所マップ」が完成し、2月下旬からインターネット上で公開が始まりました。

作成したのは、公共施設などで構成され、2016年に発足した「南区子どもの居場所づくりネットワーク」と区社会福祉協議会、区役所です。ネットワークに加盟する団体や施設が連携し、子どもの居場所をより充実したものにしようと、交流会を開き、その中で子どもの居場所をまとめた地図づくりが決まりました。

マップに子どもが参加できる食堂や学習支援施設とフリースペースなどを掲載。

南区に近い、中区若葉町にある「Art Lab Ova 横浜パラダイス会館」を含めて20カ所を紹介しており、利用できる時間帯や連絡先がまとめられています。

現在は区社協のホームページ(<http://www.minami-shakyo.jp/work/renrakukai/>) QRコードからも参照可能)

内で紹介。4月以降、A3判両面の紙版を区内の小学校を通して児童に配布する準備を進めています。同ネットワークのアドバイザーで、「子どもの未来サポートオフィス」の代表を務める米田佐知子さんは「地図になって、居場所の存在が可視化されることは大きい。」



このコーナーでは、地域情報新聞「タウンニュース」南区版の門馬康二編集長が、日々、南区を回中で感じたことなどを綴っていきます。門馬編集長は南区を担当して12年目。区役所などの行政機関や商店、市民団体などを取材し、イベントなどの現場にも足を運んで記事を書いています。



マップを手にするネットワーク関係者

これを機に新しい取り組みや動きが始まってほしい」と期待。子ども食堂の主催者が余った食材を融通し合える仕組みを作ろうとするなど、すでに連携が進んでいます。みなさんの活動と子どもの居場所が連携できる可能性も大いにあるでしょう。今後注目です。

子どもたちが暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないために

登録団体活動紹介リー

◆特定非営利活動法人 CAPかながわ 代表：細川一美

1998年から横浜を拠点とし、神奈川県内を中心に学校・保育園・幼稚園・児童養護施設などでCAPプログラムを提供しています。2005年4月には法人格を取得しました。子どもたちが安心な毎日を過ごすことができるよう、CAPワークショップ・気持ちのワークショップ・ALOHA KIDS YOGAを展開しています。

CAPとは

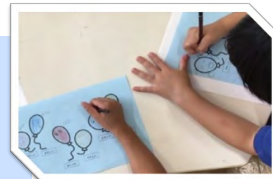
「Child Assault Prevention」(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、アメリカで開発されたプログラムです。子どもたちに自分自身の持つ権利を伝え、その権利を奪おうとするいじめ・誘拐・性暴力などあらゆる暴力に対して、心とからだの知恵をもって「自分を守るために何が出来るか」をともに考える具体的で実践的なプログラムです。

子どもたちの力を信じ、自信と勇気を引き出すようにワークショップ形式ではたらきかけます。子どもたちが暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないために、おとなにも子どもにも自分と他者の人権の大切さを伝えています。



★就学前ワークショップ
子どもの等身大の人形を使って、知らない人に話しかけられたときに何ができるかを学びます。

★気持ちのワークショップ
うれしいと思う気持ち、いやだなと思う気持ち、いろいろな気持ちを感じあい、伝えあいます。



人権のことを子どもに伝える大切さを実感しています。ご依頼に合わせてプログラムを組み立てます。詳しくはHPで。
【事務局】TEL045-730-3325(火・金14～16時)

登録団体から

戸塚宿とさくらの柏尾川を歩こう

横浜みなみガイドボランティアの会

徳川家康の側室・於万(おまん)の方と縁の深い清源院、澤邊本陣跡、おれまきで有名な八坂神社、桜並木の柏尾川プロムナードを歩きます。

●3月28日(木) 午前9時(JR戸塚駅橋上改札前集合)～12時30分頃(解散予定) ●30人(7km程度歩ける成人)
●500円 【申込み】3月23日(土) 必着のはがき・FAXで横浜みなみガイドボランティアの会(〒232-0024 南区浦舟町3-46 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ内レターケースA-46 FAX045-261-7701)へ 【問合せ】同会TEL045-261-7701



コミュニティハウス 【問合せ】佐分利TEL045-260-9028 ✉yutaka.saburi@m.email.ne.jp

パソコン手習い塾

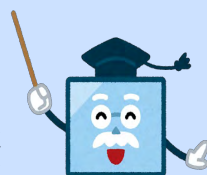
横浜ITサロン本部

ワード・エクセル・インターネット・電子メール・写真の取り込みなどパソコンのことでわからないことがあったら、「こんなことで…」と思わずご相談ください。

●第2木曜、第3・4金曜10時～11時45分 ●みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ ●1回500円 ※予約不要・パソコン持参で

☆暑中見舞い講座(6月)、スマートフォン講座(時期未定)も予定。詳しくはブログ<https://blog.goone.jp/yokohamaitaron>でお知らせします。

【問合せ】金城TEL090-1216-8672 岩井TEL045-711-6660



学習支援のボランティアをしませんか

さくらんぼ(横浜南 外国につながる中学生の学習支援グループ)

日本語を母語としない子どもたちは、たとえ日常会話ができても、日本語での授業についていくのは大変です。子どもたちに寄り添って、学びのサポートをするグループを立ち上げました。1対1を基本に、日本語で中学生の学習支援をします。一緒に活動しませんか! 詳しくはお問合せください。

●毎週火曜17時～18時30分 ※5/14開講 ●浦舟コ



街の先生ガイド

5月中旬に

更新版を発行します

さまざまな知識や技術・技能をもっているボランティア指導者「街の先生」をジャンル別に紹介するガイドブックを更新します。ラウンジホームページでご覧いただけるほか、区内の地区センター、コミュニティハウスなどで閲覧できます。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジでは、市民活動・生涯学習、多文化共生のための相談や情報提供のほか、活動場所・印刷機等の利用・機材の貸出(要登録)をしています。登録・予約不要で利用できるミーティングコーナーも。

発行者/みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

●利用登録団体のみなさん、「アクセスみなみ」に活動紹介や仲間募集を掲載しませんか!

〒232-0024 横浜南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設10階 TEL045-232-9544